

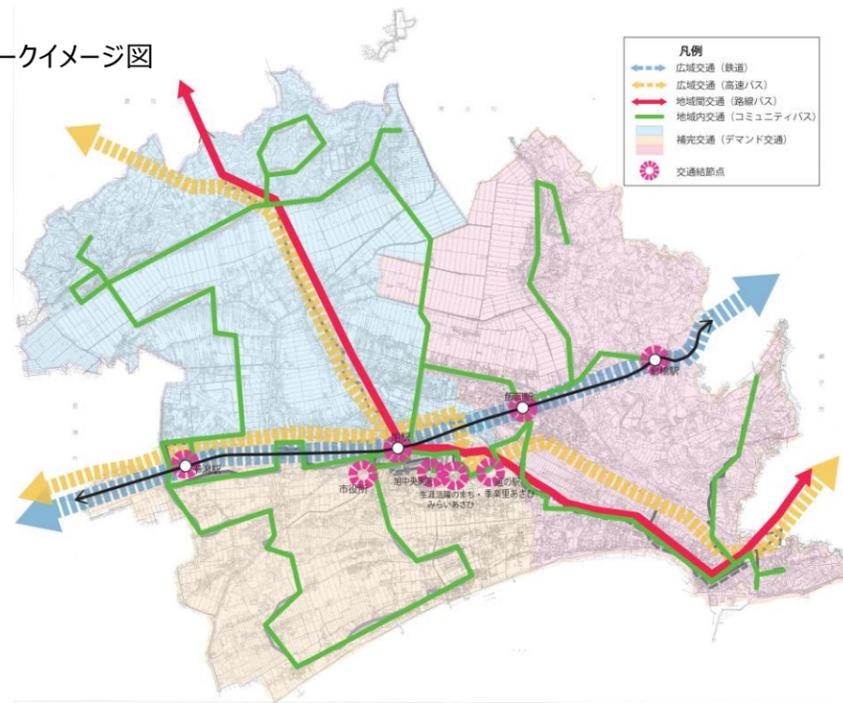
## 望ましい公共交通ネットワークのあり方

旭市の公共交通ネットワークの方向性は、既存の公共交通網を有効に活用し、広域交通（鉄道・高速バス）、地域間交通（路線バス）、地域内交通及び補完交通の4段階に機能分担を図るとともに、交通結節点としては、旭中央病院、鉄道駅に加え、道の駅季楽里あさひ、生涯活躍のまち・みらいあさひ、市役所等を位置づける。

また、既存公共交通ネットワークパターンを基本としながら、コミュニティバスの経路等の一部見直しやデマンド交通のサービス拡充を検討し、公共交通機関相互の接続・連携により、面的なネットワークを向上させることで、旭市民の生活交通として、更に来訪者の交通手段としても機能し、利便性向上と効率的な運行を目指す。

区分	役割分担	対応公共交通システム
広域交通	○都市間連絡の骨格となる広域公共交通軸 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応 ○成田空港へのアクセス強化	JR 総武本線 高速バス
地域間交通	○周辺都市への連絡及び市内の骨格路線 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	路線バス (府馬線、旭 - 銚子線)
地域内交通	○市内の地区間・拠点間を連絡し、分散する市街地の連絡強化・一本化 ○広域交通に接続、地域間交通を補完 ○地域の実情に合わせて主に通勤・通学、買い物、通院等の目的に対応	コミュニティバス
補完交通	○鉄道、バス交通等を補完し、主に高齢者などのために少量個別輸送を担う移動手段	デマンド交通、タクシー、民間送迎バス等
交通結節点	○上記の交通システムの連携拠点で、待合空間の整備・乗継ぎ情報の提供等の機能強化を図るべき拠点	旭中央病院、鉄道駅、道の駅季楽里あさひ、生涯活躍のまち・みらいあさひ、市役所等

■公共交通ネットワークイメージ図



旭市企画政策課 企画調整班

〒289-2595 千葉県旭市二の2132番地

TEL: 0479-62-5307 FAX: 0479-63-4946 e-mail: kikaku@city.asahi.lg.jp



## 旭市地域公共交通計画 一概要版一

### 計画期間

令和5年度～令和9年度（5年間）

### 計画区域

千葉県旭市 全域

### 計画策定の背景及び目的

近年の地域公共交通は人口減少、少子高齢化や自家用車の普及により、利用者が減少している。このような状況の中、本市では、地域公共交通のマスタープランとなる「旭市地域公共交通網形成計画」を平成30年3月に策定し、その翌年には、コミュニティバスの再編とデマンド交通の導入を目的とした「旭市地域公共交通再編実施計画」を策定したうえで、令和2年4月より、コミュニティバスを現在の4ルートへと再編し、デマンド交通の運行を開始した。

しかしながら、こうした取り組みを進めてきた一方で、人口減少や少子高齢化のさらなる進行や、新型コロナウイルス感染症の影響、交通事業者の運転手不足及び高齢化の問題等が発生しており、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。これらの問題を解決するために、地域の特性や利用者ニーズを的確に把握し、より効率的かつ効果的な公共交通を構築していく必要がある。

このことから、現在の旭市地域公共交通網形成計画を改訂し、今後の人口減少や高齢化を見据えつつ、地域にとって望ましい公共交通の姿を明らかにし、市民にとって利用しやすい持続可能な公共交通体系を構築するため、「旭市地域公共交通計画」を新たに策定するものである。

### 概況のまとめと地域公共交通の課題

#### ■旭市の現況概要

- 少子高齢化に伴う高齢者独居世帯の増加
- 免許証自主返納者は毎年200名程度存在
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市内公共交通利用者は大幅に減少
- 多額の公費負担による公共交通の維持
- 自家用車の利用を前提としたライフスタイルの定着
- 観光客の約9割が自家用車利用であり、鉄道など公共交通機関を利用する観光客は少ない

#### ■各種調査結果

- 70～74歳では9割以上、75歳以上でも約半数が運転免許を保有
- 外出時の交通手段は「自家用車」が77%
- コミュニティバス利用者・路線バス利用者の改善してほしいサービスは「運行本数・運行時間帯」
- デマンド交通利用者の多い要望は「乗降対象施設を今よりも多くする」と「他の運行区域への乗り入れ」
- 「今の財政負担（税金投入）程度の中で、今の公共交通の見直しを行うべき」との意見が多い
- バス・タクシーでは業界全体を通しての慢性的な乗務員不足、人員確保が困難
- 「旭市総合公共交通マップ」について、「配布されていることを知らない」が36%
- バス等の公共交通を利用する方は集客施設利用者の3%程度
- 二次交通の充実を図ってほしい

#### ■上位関連計画（まちづくり）

- 交通弱者対策
- ネットワーク型都市構造づくり
- 生涯活躍のまちづくり
- 移住定住促進
- 交流人口拡大、活性化

#### ■地域公共交通を取り巻く課題

- ① 高齢化により増加する交通弱者の移動手段の確保
- ② デマンド交通やコミュニティバス等の既存公共交通の利便性向上
- ③ 財政負担の増高や、運転手不足等の状況下での公共交通の持続性の確保
- ④ 公共交通利用意識の醸成および利用促進に向けた効果的な情報発信
- ⑤ 移住定住促進や交流人口拡大等に向けた公共交通の構築

## 旭市地域公共交通計画の基本方針及び計画目標

### 【課題】

**課題①**  
高齢化により増加する交通弱者の  
移手段の確保

**課題②**  
デマンド交通やコミュニティバス等の既  
存公共交通の利便性向上

**課題③**  
財政負担の増嵩や、運転手不足等  
の状況下での公共交通の持続性の  
確保

**課題④**  
公共交通利用意識の醸成および利  
用促進に向けた効果的な情報発信

**課題⑤**  
移住定住促進や交流人口拡大等  
に向けた公共交通の構築

**【基本方針 1】**  
高齢者を中心に捉えた誰もが利用しやすい公共交通の実現

**【計画目標 1】**  
○わかりやすく利便性の高い公共交通ネットワークの構築

**【基本方針 2】**  
将来にわたり持続可能な地域一体となった公共交通の実現

**【計画目標 2】**  
○地域住民・交通事業者・行政等の協働による持続可能な  
取り組みの展開

**【基本方針 3】**  
まちづくりと連携した魅力のある公共交通の実現

**【計画目標 3】**  
○まちづくり計画との連携による魅力的な交通環境の創出

## 計画目標に対する評価指標

計画目標	評価指標 指標の考え方	基準値	目標値 (R9)
①わかりやすく利便性の 高い公共交通ネットワ ークの構築	○鉄道利用者数（1日あたり）	2,913人 (R3)	3,330人
	○高速バス利用者数（1日あたり）	144人 (R3)	390人
	○路線バス利用者数（1日あたり）	673人 (R3)	673人
	○コミュニティバス利用者数（平日1日あたり）	179人 (R3)	240人
	○デマンド交通利用者数（1日あたり）	22人 (R3)	37人
	○アンケートにおける外出時に交通手段がなく 困っている人の回答割合	19% (R4)	15%以下
	○年間運転免許返納者数	200人 (R3)	300人
②地域住民・交通事業 者・行政等の協働に よる持続可能な取り 組みの展開	○コミュニティバスの収支率	12.7% (R3)	16.7%以上
	○デマンド交通の収支率	11.1% (R3)	13%以上
	○地域公共交通利用促進活動実施回数	—	年1回以上
③まちづくり計画との連 携による魅力的な交 通環境の創出	○商業施設や観光施設との連携による 公共交通利用促進のサービス数	—	5件以上
	○まちづくり拠点施設等への新たなバス停、 デマンド交通共通乗降場所の設置数	—	5箇所

## 実施施策及び実施事業

実施事業	R5	R6	R7	R8	R9
<b>施策 1 広域交通ネットワークの充実</b>					
○JR 総武本線の利便性向上			実施		
鉄道事業者への要望活動の実施					
利用促進イベントの検討			検討・順次実施		
○高速バスの利便性向上			検討・順次実施		
パークアンドライド駐車場整備の検討					
バス停における待合環境改善の検討			検討・順次実施		
○成田空港へのアクセス向上の研究			研究・実施検討		
<b>施策 2 路線バスの活性化・維持</b>					
○路線バスの鉄道ダイヤに合わせた運行ダイヤの調整及び維持			検討・順次実施		
○路線バス・コミュニティバス運行終了後における高速バス 一般乗降化の研究			研究・実施検討		
<b>施策 3 地域内交通の利便性向上</b>					
○コミュニティバスの利便性向上			実施		
コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し	検討				
コミュニティバスの運賃改定	検討			実施	
○デマンド交通の利便性向上	検討			実施	
○まちづくりと連携した新たな交通結節点の整備	検討			順次実施	
○利用の多いバス停施設の環境改善				検討・順次実施	
○コミュニティバス等の運行評価基準の設定	検討・設定			評価実施	
○地域住民主体の取り組みの研究				研究・実施検討	
<b>施策 4 公共交通の総合的情報等の提供</b>					
○総合公共交通マップの作成及び公共交通専用ホームページによる情報提供					
総合公共交通マップの作成				作成・配布	
公共交通専用ホームページによる情報提供				実施	
○バスロケーションシステムの研究				研究・実施検討	
○地図アプリと連携した GTFS の導入検討				研究・実施検討	
<b>施策 5 利用促進策の実施</b>					
○公共交通の利用を促す機会の創出“きっかけづくり”					
外出の移動モデルプログラムの作成・配布				検討・順次実施	
バスの乗り方教室の実施				検討・順次実施	
お試し乗車券の配布				検討・順次実施	
公共交通の出前講座の実施				検討・順次実施	
免許返納優遇措置の周知				実施	
○情報発信の強化				検討・順次実施	
○商業施設や観光施設と連携した割引制度等の導入の検討				検討・順次実施	
○キャッシュレス決済・MaaS の研究					
低コストで導入しやすいキャッシュレス決済の導入検討				検討・順次実施	
MaaS の研究				研究・実施検討	